

3年 国語

仕事のくふう、見つけたよ
～作例を参考にしながら、報告する文章の下書きを書く～

1. 学習目標

組み立てにそって、ほうこくする文章を書こう。

2. 指導の流れ（第9時／全12時）

教師の動き	指導のポイントなど
1. めあての確認「組み立てにそって、ほうこくする文章を書こう。」	・見学メモに沿って文章の下書きを書くことを確認する。
2. 「谷口さんが書いた、ほうこくする文章」のよいところを考え、報告する文章において気をつけることを確認する。	・「谷口さんが書いた、ほうこくする文章」をみんなで読んで、よいと思うところを見つけるよう伝える。 C：れいを書いているとわかりやすい。 C：調べた理由に、谷口さんがふだん考えていることが書かれている。 C：写真を載せているところがいい。 読んでいて、わかりやすい。 ・P94を見て、下書きを書くときに注意することを確認させる。
3. 「P97「符号など」を読んで、符号の使い方を確認する。」	・文章でよく使う符号について、確認させる。 ・横書きは、左から右に書くこと、数字は算用数字と漢数字を使い分けることを確認する。
4. 「下書きを書き、読み返そう。」	・見学メモを必ず参照させ、組み立てとともに段落ごとの内容のまとまりにも

<p>5. 本時の振り返り、次時への予告をする。「次の時間は、清書をします。」</p>	<p>留意し、段落同士の関係にも意識を向けさせる。</p> <p>・写真は清書の段階ではりつければよい。どこにどのような写真を入れるかを想定しておくよう伝える。</p>
---	--

3. ルーブリック評価

	書く (思考)
つきたい力	内容のまとめりや段落相互の関係に注意して、下書きを書いている。
レベル A	<p>レベル B の観点に加えて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調べて分かったこと」と分かったことから「自分が考えたこと」を区別して書いている。 ・まとめとして、調べて分かったことから考えたこと、さらに自分で調べたことを具体的に書いている。 <p>例)「さらに○○について知りたいので、これからスーパーに行くときに、よく見て確かめてみたい。」</p> <p>「まだ◇◇については分からなかったもので、調べてみたら、△△だと分かった。」など</p>
レベル B	<ul style="list-style-type: none"> ・報告する文章の組み立てに沿って、内容のまとめりや段落同士の関係に注意し、文章の構成を考えている。 <p>文章構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたきっかけや理由 ・調べ方 ・調べて分かったこと、考えたこと ・まとめ

3. 児童の成果物

売り場のくふう

1. 調べた理由

わたしは、家族とスーパーへ買い物に行ったことがあります。だけど、スーパーについて、くわしくは知りませんでした。今回カナートの見学に言って、きょう味をもった売り場のくふうについて調べました。

2. 調べ方

デイリーカナートイズミヤに行き、見学しました。また、店長のおおたさんに話をうかがいました。本と教科書もあわせて読みました。

3. 調べて分かったこと

(1) 入り口近くにおく商品

入り口近くに、しゅんのフルーツをおくそうです。

しゅんのフルーツをおいたら、お客様が「こんなきせつだなあ」と思うと思います。

(2) 商品のポップ

ポップで商品を目立たせるそうです。

ポップで商品を目立たせるのがいいと思いました。なぜかという、お客様がいっぱい来ると思ったからです。

4. まとめ

たなが引き出しになっていることが分かりました。しょう味きげんを見やすくするためにくふうされてあるんだと分かりました。